2026年度 第7回 兵庫県ユース審判トレセン



11/14(土)のノエビアスタジアム神戸で行われた
第105回全国高校サッカー選手権大会兵庫県大会決勝の試合を観戦しながら
『**2026年度 第7回 兵庫県ユース審判トレセン**』を開催しました。

決勝戦の副審2をユース審判員の齋藤奏(高1)がしっかりと堂々と担当してくれました。



＜齋藤奏のコメント＞
このたび、選手権の決勝という大きな舞台で審判を担当させていただき大変貴重な経験となりました。この特別な試合を担当する責任と緊張感を感じるとともに、試合を通して自分自身の課題や今後伸ばしていくべき点を改めて認識することができました。
このような貴重な機会を与えてくださった、兵庫県サッカー協会のみなさま、そして日頃からご指導、ご支援いただいているユース部のみなさまに心より感謝申し上げます。
今回得た経験を今後の審判活動に活かしていきたいと思います。

フィールドインスペクション







決勝戦を担当するレフェリーチームと一緒にフィールドインスペクションに同行し、試合を**公平に、安全に、円滑に**進めるために確認するべきポイントを解説しました。

参加者は、普段Jリーグが行われているピッチに立つことができて、大興奮!!
貴重な経験となったようです。

試合前の打ち合わせ



決勝戦を担当するレフェリーチームの試合前の打ち合わせにも同席し、普段Jリーグの試合を担当している堀くんの話も聞くことができました。
対戦する両チームよりも一番良いチームワークを発揮するために、試合前の打ち合わせの重要性を感じてもらうことができました。

講義(試合前の準備とレフェリングのポイント)





決勝戦の前後に
『**試合の準備の大切さ**』について講義を実施しました。
フィールドインスペクションや試合前の打ち合わせのポイントを解説し、実際に同行、同席することで理解度が深まったようです。試合後は、今後の審判活動に活かせるよう、気になったシーンの確認と解説を行いました。